

ワークショップで学ぶ、アジャイル開発の極意【会場】 (4124198)

まず、アジャイル開発の考え方や特徴を、ウォーターフォール開発との比較も交えて学びます。開発の流れ、人の動きや役割、お客様との関り方がこれまでとは大きく異なり、それらを変える事によってどんな効果があり、何が得られるのかを理解します。そして、その学びを模擬プロジェクトの演習で体験しながら習得します。イテレーションを繰り返して短期開発でお客様が使える機能をリリースする感覚をつかみます。

開催日時	2025年2月3日(月) 10:00-17:00会場
カテゴリー	IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント 専門スキル
DXリテラシー	Mind(マインド・スタンス)：デザイン思考／アジャイルな働き方 Mind(マインド・スタンス)：新たな価値を生み出す基礎としてのマインド・スタンス
講師	<p>竹内健 氏 (Ridgelinez株式会社 Technology Group E&I)</p> <p>日本システム技術にてパッケージ導入プロジェクトマネージャーとしてキャリアをスタート。PwCコンサルティング、日清オイリオグループを経て、20件以上のプロジェクトでアジャイル導入・最適化を推進。経営指標、営業、生産、研究開発など幅広いビジネス領域における実績と、データドリブン経営基盤構築への貢献経験を有する。 現在はRidgelinezにて、アジャイルコンサルとして活動。</p> <p><保有資格> 米国 Scrum Alliance ・認定スクラムマスター(CSM) ・アドバンスド認定スクラムマスター(A-CSM)</p> <p>泉野桂一朗 氏 (Ridgelinez株式会社 Technology Group E&I) 富士通株式会社に入社後、AIサービスの研究開発、Webアプリケーション開発に従事。Ridgelinezに転社し、主にWeb・クラウド領域のアジャイル開発を主導。ローコードプラットフォームと組み合わせた柔軟・高速な開発を得意とする。</p> <p><保有資格> 米国 Scrum Alliance ・アドバンスド認定スクラムマスター(A-CSM) ・認定プロダクトオーナー(CPO) ・認定スクラムデベロッパー(CSD) 米国 Scrum.org ・Professional Scrum Master I</p>
参加費	J U A S 会員/ITC : 35,200円 一般 : 45,100円 (1 名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (NBF東銀座スクエア2F)
対象	アジャイル開発に興味がある方、これから取り組まれる方、取り組みはじめた方 アジャイル開発を始めているが、なかなか軌道に乗らない方 ソフトウェア開発のチーム運営に悩みのある方 (プログラム開発経験は不要です) 初級
開催形式	講義、グループ演習
定員	16名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

主な内容

- 受講形態
会場のみ(オンラインなし)
- テキスト
当日配布
- 開催日までの課題事項
特になし

模擬プロジェクトでアジャイル開発の基本的な流れを学びます。

イテレーションを繰り返して短期開発でお客様が使える機能をリリースする感覚をつかんでいきます。

演習：

- －模擬プロジェクトによるアジャイル開発の基本的な流れを体験
- －自己組織的なチームビルディング
- －イテレーティブ&インクリメンタルな価値提供
- －フィードバックを得ながら、お客様と一緒に開発
- －タスクボード、バーンダウンチャート、KPTの使い方

主な内容

1. アジャイル開発とは

アジャイル開発の考え方や特徴を、ウォーターフォール開発との比較も交えて学びます。

開発の流れ、人の動きや役割、お客様との関り方がこれまでとは大きく異なり、それらを変える事によってどんな効果があり、何が得られるのかを理解します。

ここで学んだ事を以降の模擬プロジェクトを通して実体験し、より深い理解を得るとともに実践への足がかりを掴みます。

2. 長期視点の計画と見える化

最初に模擬プロジェクトにおけるビジョンの共有と具体化、ビジョンを達成するための計画を長期視点で立案します。

3. 短期開発の実践

タスクボード、バーンダウンチャート、KPTといった、アジャイル開発を進める上で必要となる基本的なツールの使い方を学びながら、アジャイル開発の基本的な流れを実践します。

4. 変化を受け入れる

イテレーティブ&インクリメンタルに開発を進める事で得られるフィードバックの重要性を理解し、お客様と一緒に変化を受入ながら進める事の大切さを学びます。

5. チーム開発の意義

メンバー全員が、自分ごととしてチームの運営に関わる事を体感し、自己管理チームとして活動する事の楽しさと利点を学びます。

■受講者の声

- ・説明も資料も分かりやすく、仕事に使いそう。
- ・実際の作業を通じて専門用語の理解を深めることができた。
- ・大半が演習の時間で、かつ演習時に指摘・軌道修正があり単純な座学よりも集中できた。
- ・体感する事の大切さがわかった。コーチングの内容・タイミングもよかった。